

PTA活動者と考える LOVE「家庭教育」



皆さんは「家庭教育」という言葉から、何を思い浮かべますか？両親の優しさと厳しさ、ほんわかとした温もり、躰、子どもの自己肯定感、食育など、いろいろ思い出されることでしょう。連想から思い浮かべるものはいろいろあっても、家庭教育の中心となっているものは「子どもをより良く育てたい」という親の子どもへの愛情ではないでしょうか。

家庭での教育について、よく考え真摯に取り組むことにより、親子の絆は深まり、心豊かな子どもの育成が期待できます。また、喜びや夢の実現、楽しさなどにつながることもあるでしょう。

今号では市内の小中学校で、PTA活動に熱心に取り組んでいる宇都宮市PTA連合会の役員の方と一緒に、家庭教育について改めて考えてみました。皆さんの家庭教育の参考にいただければ幸いです。

①家庭教育が目指す子どもって？

皆さんはお子さんに対し、どのような子どもになってほしいと考えていますか。その願いを言葉や行動で伝えることが、家庭教育の第一歩です。また、いろいろな考え方を知ることが、子どもを多面的に見ることにつながります。

ここでは、地域活動に熱心に取り組んでいる市PTA連合会役員の方々に、「家庭教育が目指す子ども」について、話していただきました。



自立する子

自分のことができるようになってきたね。



笑顔のある子

笑顔が一番。
笑顔でいると、みんなも楽しい気持ちになるよ。



社交的な (コミュニケーション 力のある)子

友達の話をよく聴いて、自分の考えを伝えられるようになるといいね。



助け合える子

みんなで協力したり、助け合ったりすると、気持ちがいいよね。



人の成功を 喜べる子

自分が成功したとき、おめでとうと言われると嬉しいよね。だから人が成功した時も心から喜んであげようね。



心の優しい子・ 素直な子

困っている友達がいたら助けてあげよう。悲しんでいる友達がいたら優しくしてあげよう。友達なんだから。



積極的な子

失敗しても、いろんなことにチャレンジしてほしいな。

凡 例

上段

目指す子ども像

下段

目指す子どもに近づくための子どもへの声かけ例